

1	<p>【読み(漢字の右)】</p> <p>孫子荆年少時、</p>	<p>【書き下し文】</p> <p>孫子荆年少時、</p>	<p>【現代語訳】</p> <p>孫子荆が若い頃、</p>
2	<p>欲隠。語王武子、</p>	<p>隠れんと欲す。王武子に語るに、</p>	<p>(俗世を捨てて) 隠棲(遁世)しようと思つた。王武子に(その気持ち)を語ろうとして、</p>
3	<p>① 当枕石漱流、</p>	<p>①当に 石に枕し流れに漱かんとすといふ</p> <p>②べきに、</p>	<p>②当然、石を枕として眠り、川の流れ(水)でうがいをするつもりだと言ふべきところを、</p>
4	<p>誤りて曰、「漱石枕流。」</p>	<p>誤りて日はく、「石に漱き流れに枕せん。」と。</p>	<p>誤つて、「石でうがいをし、流れを枕しようと思ふ。」と言つてしまった。</p>

5	<p>王曰、「流可枕石可漱乎。」</p>	<p>王日はく、「流れは枕すべく、石は漱ぐべきか。」と。</p>	<p>王は、「流れを枕とすることのできるのか。石でうがいをすることのできるのか。」と言つた。</p>
6	<p>孫曰、「所以枕流、欲洗其耳。」</p>	<p>孫日はく、「流れに枕する所以は、其の耳を洗はんと欲すればなり。」</p>	<p>孫は、「流れを枕とするわけは、(俗事を聞いて汚れた)耳を洗おうと思つからだ。</p>
7	<p>所以漱石、欲礪其齒。」</p>	<p>石に漱ぐ所以は、其の齒を礪かんと欲すればなり。」と。</p>	<p>石でうがいをするわけは、(俗世のものを食べて汚れた)齒を磨こうと思つからだ。」と言つた。</p>